

||| **B**ESSERUNG

発行日 平成 25 年 12 月 12 日

発行者 河井 恵美



**スポーツ祭東京2013**



第 68 回国民体育大会

祝 パドルテニスの部入賞

「スポーツ祭東京2013」が開催され、デモンストレーションとしてのスポーツ行事で、パドルテニスが10月6日に3会場で盛大に開催されました。ベッセルからも20人の選手が参加し、日頃の練習の成果を発揮しました。その結果、なんと10名の方々が入賞するという快挙を成し遂げましたので、ここにご報告します。

ベッセルの皆でその栄誉を称え、喜びを分かち合いましょう。



## 歓迎のことば



スポーツ祭東京 2013 三鷹市実行委員会会長  
三鷹市長 清原慶子

ようこそ、三鷹市へ！

三鷹市では初めての国体となる東日本大震災復興支援「スポーツ祭東京 2013, 第 68 回国民体育大会」デモンストレーションとしてのスポーツ行事「パドルテニス」が、都内各地から多くの選手・監督や大会関係者の皆様をお迎えして盛大に開催できますことは、幸いなことであり、市長として心から歓迎申し上げます。

三鷹市では、「都市再生」及び「コミュニティ創生」を最重点施策として、「協働・感動・躍動が息づく、輝くまち三鷹」の創造に取り組んでいます。そして、市民の皆様が「いつでも、どこでも、だれでも、そしていつまでも」健康で生き生きとした生活を送れるよう、スポーツ活動やレクリエーション活動に親しむことができる市民スポーツ活動の推進を図っています。

こうした中、三鷹市では、国体正式競技としてサッカー競技、ソフトボール競技及びアーチェリー競技の 3 競技、また、デモンストレーションとしてパドルテニスの競技会を開催します。さらに、第 13 回全国障害者スポーツ大会ではアーチェリー競技を開催します。開催に当たりましては、全国からお迎えする皆様に心のこもったおもてなしができるよう、全市を挙げて準備を進めてまいりました。

出場される選手の皆様におかれましては、日頃の練習の成果をいかに発揮されますとともに、選手同士の交流を深められ、思い出に残る大会とされることを願っています。また、この機会に「緑と水の公園都市」三鷹の自然と文化を感じていただければ幸いです。

結びに、本大会の開催にあたりご尽力いただきました日本パドルテニス協会、東京都パドルテニス協会をはじめ関係者の皆様に心から感謝申し上げますとともに、大会の成功とパドルテニスの今後のますますの発展をお祈りいたします。

※スポーツ祭東京 2013 第 68 回国民体育大会パドルテニス実施要項より転載



## ごあいさつ

東京都パドルテニス協会  
会長 河井 恵美

はじめに、平成 25 年秋「スポーツ祭東京 2013」が盛大に開催されますことを、心よりお祝い申し上げます。

今を去る 10 数年前に、東京都は多摩地区のより一層の市民スポーツ振興を目指して【多摩国体】というプロジェクトを立ち上げました。私も市民スポーツグループ関係者としてその会議に参画し、いくつかのイベントに足を運びました。

まだまだチャンピオンスポーツ色の濃かった国民体育大会を一般市民スポーツ愛好者も巻き込んで、全国民の一大国体祭りにすることを考えての事だったと思います。

健康のため、人とのコミュニケーションを育てるため、等々、各個人の目的はさまざまでしたが、ニュースポーツの開発、年齢を問わないファミリースポーツの推進、そして総合型地域スポーツクラブの育成へと、市民スポーツの歩みは着実に拡がりを見せ、素晴らしい道をたどりました。そしてこの度 57 種目ものニュースポーツがデモンストレーションとして参加する「スポーツ祭東京 2013」の開催となりました。そしてパドルテニスも加わることになりました。

1898 年アメリカミシガン州で生まれたパドルテニスが、1975 年頃から日本に導入され、パドルテニスの愛好者は日本全国に拡がりました。その人たちが夢にまで見た国体参加が初めて実現したのです。幼時から高齢者までが同じフロアで楽しめるのは、まさに最高のファミリースポーツだと思います。本大会への参加を一つのステップとして参加選手は勿論の事、まだラケットを握ったことの無い人たちにもその楽しさを伝え、パドルテニスの普及、発展に努めたいと思います。

「スポーツ祭東京 2013」への初参加を契機に、東京に続き今後の国体参加に次々と名乗りを上げてくれる地域の出てくることを願っております。

少々私事に属しますが、1970 年代より三鷹市は全国から「ソフトの三鷹」と言われ、施設の不十分な三鷹の地で不足するハード面をソフトでカバーしつつ、「三鷹方式」の名のもとに市民スポーツの発展、自主グループの育成に取り組んでまいりました。その集大成とも言べきパドルテニスの三鷹市開催には、ひとしお感慨深いものがあります。市内、私学の御好意、教育委員会の御配慮、45 年余り慣れ親しんだ市立体育館と 3 会場での開催は参加者の皆様には、大変ご不自由をお掛けして申し訳ございませんが、この大会は「ソフトの三鷹」の卒業式のようなものなのです。

「ソフトの三鷹」にお別れすべく、昨年末、三鷹市は総合体育館建設に着工いたしました。

終わりに、このような状況の中での本大会開催には、行政のバックアップをはじめ、各方面のたくさんの方々から御支援、御協力を頂きました。ここに心から感謝と御礼を申し上げます。

◇◇◇ 入賞者の声 ◇◇◇

一般男子B 準優



宮本 崇之さん 鈴木 幹太さん

待ちに待った大会でした。[国体優勝]の4文字のために、春から(三女は一週間で脱落しましたが)毎朝ジョギングや素振りをしました。車の中ではスポンジボールを握っていました。ラケットも替えました。

当日も優勝チームに0-40のマッチポイントから逆転勝ちしました。最終戦も自分のサービスゲームを取って、次のタイブレークで勝利=優勝!と、最後のゲームまで確信していました。でも……とても悔しいのですが、まだ鍛錬があと1ゲーム分足りなかったと思うことにします。

鈴木 幹太

家族で何か身体を動かすことがしたいと、息子が参加していたパドルテニスと一緒に始めたのが1年半前。以来、試合に出る楽しさも知って、家族ですっかりのめり込んでしまいました。

実のところ国体では優勝を狙っていたのですが、残念ながら準優勝に終わってしまいました。しかし国体で入賞できたことを誇りに、さらなる上を目指したいと思っています。来年の目標はズバリ『Bで優勝、Aクラス昇格!』

宮本

一般女子B 3位



鈴木 ひとみさん 鈴木 くるみさん

数年前から話題になっていた国体。正直、出場するのがとても怖かったです。「くーちゃんなら大丈夫だよ」「くーなら優勝だね」と、言われるたびに逃げ出したいくなりました。一般女子の世界は、ジュニアの時よりも勝ち進むことが難しく、8月の関東大会でも1回戦敗退…国体でもそうなるのではないかという不安や、周りからの期待が私にはとても大きなプレッシャーでした。

予選リーグまでは順調だったものの、決勝トーナメントではそのプレッシャーに耐えることが出来ず、負けてしまいました。3位入賞は出来ましたが、この結果に満足出来ない私があります。どうやらまだまだ精進が足りていないようです。もっと練習しなきゃ!

鈴木 くるみ

子ども達が夢中になっていたパドルテニスを主人と始めて、あっという間に7年が経ち、今では家族で毎回楽しく練習をしています。テニスの経験がなかった私が「国体」という大きな大会に出場するなんて夢にも思いませんでした。それも娘とペアを組んで……。そのうえ、3位に入賞することができ、素敵な思い出ができました。

これからも体力の続くかぎり一生懸命プレイしていきたいと思っています。もちろん足を引っ張りますが、娘が私と組むのを嫌がるまでペアを続けながら……。

鈴木 ひとみ

## ジュニアA 優勝



藤田 優花さん 松谷 実紘さん

## ジュニア部門 A・B 優勝・準優勝

私は市長杯で負けてくやしい思いをしました。だから今回がんばれたんだと思います。そしてペアの子が良いプレーをしてくれたからです。今回勝ててすごくうれしいです。  
小4 藤田 優花

初めて組んだペアであり練習ができなかったけど、国体で優勝できてよかったです。  
それに、いつも通りのプレーができてうれしかったです。  
わたしも頑張ったけど、ペアのゆかちゃんもたくさん打ってくれて勝てました。  
次の大会も頑張りたいです。  
小3 松谷 実紘

国体で、弟と一緒に兄弟優勝ができて本当にうれしかったです。

塾と部活で練習日が合わず、ペア練習をする時間があまりとれなかった中での優勝は、いろいろな意味で自分への自信につながりました。

次の大会にむけて、また頑張りたいです。

中2 松谷 茉紘

47年に一度の東京国体に参加できてよかったです。姉とペアを組み、兄弟で優勝できたことは貴重な経験になりました。自分なりの攻め方もでき、満足のいく試合内容でした。

今後は、そろそろJr.を卒業して、一般男子のクラスに挑戦したいと思っているので、練習を頑張っていきたいと思っています。

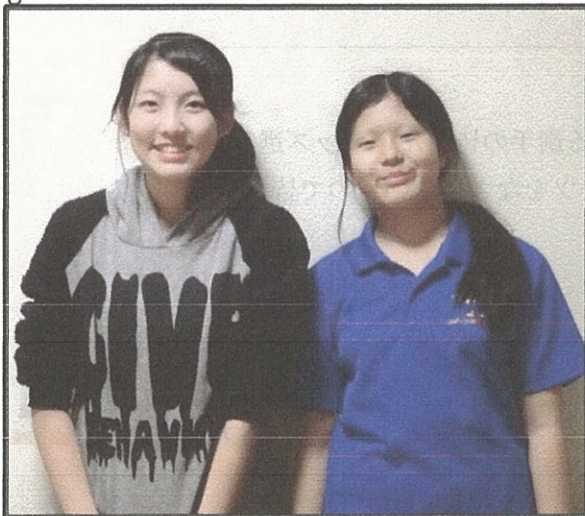
中1 松谷 智紘

## ジュニアB 優勝



松谷 茉紘さん 松谷 智紘さん

## ジュニアB 準優勝



斉藤 美月さん 鈴木 かえでさん

初めての国体でとても緊張したけど、ペアで声をかけ合って頑張れました。鈴木かえでちゃんとペアを組み、準優勝だったけど、二人で力を出し合えて良かったと思います！

これからもパドルテニス続ける中で、どんな時でも集中し、苦手なボレーを練習して、もっと強くなりたいです。  
中2 斉藤 美月

私は姉に憧れてパドルテニスを始めました。コーチの方々や家族に教えられ、上達しました。国体では、教えてもらったことを生かして2位までいきましたが、残念なことに1位にはなれず悔しい思いをしました。これからもっと練習をして、いろいろな大会で優勝したいです。  
中1 鈴木 かえで

## ◇◇◇ 参加者の声 ◇◇◇

### スポーツ祭東京に参加して

平成25年10月6日(日)スポーツ祭東京2013のデモンストラーション競技として、パドルテニス大会が開催されました。大成高等学校「アリーナまい進」、三鷹市立第三中学校体育館、三鷹市第一体育館と三か所もの会場で、熱戦が繰り広げられました。

ベッセルからも一般、シニア、ジュニアのそれぞれの部に、合わせて20組40人が選手として参加しました。

それに先立ち、国体に向けてのスキルアップとして、中野から富田コーチ、稲垣コーチにお越し頂いて、とても勉強になるレッスンを受けることもできました。

「目指せ!! 東京国体!」を合言葉に、あと何日と数えながら熱の入った指導者の声に励まされ、練習に練習を重ねました。家族よりもパドルのメンバーという時間の方が長いのでは、とさえ思った時もありました。

そうした練習の成果と根性で、ベッセルから5組が入賞! 素晴らしい成績を収めることが出来ました。ベッセルスポーツクラブの恵まれた環境のなか、ジュニアを含む42人の仲間と共にパドルテニスを楽しみ、国体という一大イベントに選手として参加出来たことに、感謝の気持ちでいっぱいです。

また11月9日(日)河井会長主催による国体祝勝会の席まで設けて頂き、入賞者からは喜びの言葉を聞くこともできて、もう一度幸せな気分になりました。

最後になりましたが、ベッセルから前日および当日の準備・運営に沢山の方々からご協力を頂きましたこと、また温かい応援をして頂いたことに、選手を代表してお礼を申し上げます。どうもありがとうございました。

ベッセルスポーツクラブ パドルテニス部部长 石井 美江

### 国体デモ競技のパドルテニスに参加して

私はベッセルのテニス部に籍をおいていますが、今年度からパドルの会員とペアーを組み対外試合に出場するようになりました。そして3回目の競技会が国体デモ競技パドルテニスシニアの部の出場でした。対戦相手のシニアは技術・動きとも高いレベルの経験者が多く、競技会の経験不足もあり結果は不本意なものでしたが、今後の為に良い経験をさせて頂いたなと思います。ひとつ挙げれば、「自滅は相手に余裕を与える」といった事です。

多数の老若男女の出場を可能とし競技が開催されたのは、多数の実行委員及びベッセル会員のおかげだと感謝しています。またジュニアの参加も多くパドルテニスの底辺が広がっていくのだなと感じた大会でした。

ベッセルスポーツクラブ テニス部部长 寺沢 弘治

### 受付を担当して

「おはようございます。」の元気な声と共に受付に寄られる選手の皆さん。キッズ選手もですが、シニア選手の方の多さに先ず驚き、そのうえスポーツをなさっているので皆さんお若い!!

国体のデモンストラーションという事でしたが、選手層がこんなに厚い競技です。是非、本種目に加えて頂けるようにと思いました。

最後までハツラツとした選手の皆さんに、受付を担当していて気持ちが良かったです。

ベッセルスポーツクラブ ヨガ部副部长 柴倉 周子



平成25年10月6日(日)

スポーツ祭東京2013

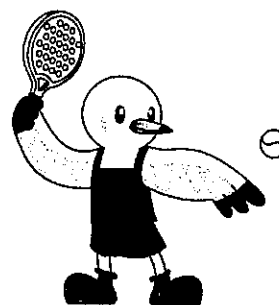
第68回 国民体育大会

デモンストレーションとしてのスポーツ行事

パドルテニス

ベッセルスポーツクラブ 競技会参加者名簿

種別			氏名		順位	
一般の部	男子	B	鈴木 幹太	-	宮本 崇之	2
			浅見 章安	-	早川 敏雄	
	女子	A	村上 昌江	-	林 千幸	
		B	松谷由美子	-	細田 繁子	
			鈴木ひとみ	-	鈴木くるみ	3
		C	浅見 智子	-	羽淵 雅子	
宮本 麻希	-		石田南十字			
シニアの部	男子	A	持田 英樹	-	寺沢 弘治	
		B	米村 真雄	-	高橋 信雄	
			岡賀 昇	-	藤巻 朗	
	女子	A	目黒 直美	-	石井 美江	
		B	松野 芳子	-	岡賀 幸恵	
			持田 公江	-	佐藤 文子	
ジュニアの部	A	岡 知世	-	岡村亜沙子		
		伊藤 華	-	小林 茉央		
		松谷 実紘	-	藤田 優花	1	
		宮本 伊織	-	高橋 健雄		
		藤野千日朗	-	山崎 千優		
	B	鈴木かえで	-	斉藤 美月	2	
		松谷 茉紘	-	松谷 智紘	1	





ご声援ありがとうございました

